

令和6年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	7103	領域略称名	非ゲノム情報複製
研究領域名	多様かつ堅牢な細胞形質を支える非ゲノム情報複製機構		
領域代表者名 (所属等)	中西 真 (東京大学・医科学研究所・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域では、種々の生命現象の制御につながると想定される DNA メチル化、ヒストン修飾や高次クロマチン構造などによる非ゲノム情報が、どのように複製されるかについて幅広い研究が展開され、分子メカニズムに関するいくつかの重要な発見を含む特筆すべき成果を挙げており、期待どおりの進展が得られた。若手育成に関しても、十分な取り組みがなされ、採択当時の趨勢に合致した研究領域の創生に貢献したものと評価される。

一方で、これらのエピゲノムに関連する非ゲノム情報の複製が、種々の生理的現象や病態および老化などに対し、具体的にどのように関わっているのかについては、今後に残された重要な課題と考えられる。本研究領域の研究期間終了後においても、本研究領域を基盤とし、そこで培われた連携研究を更に展開させることにより、DNA メチル化以外の分子機序の更なる解明に加え、多階層で構成されるエピゲノム複製機序が生理的・病態的現象へ関与するメカニズムについて解明を進めることにより、世界的に研究が活発な非ゲノム情報領域の中で、独自のコンセプト形成につなげることが期待される。